

幼 児 の 教 育

昭和三十三年六月

六月のみどり

六月のみぎりには、ごこごなく落ちついた色が出る。四月、五月の草木には見られなかつた葉色の落ちつきがある。落ちつきさいふご落ちつき過ぎるが、若葉さいひ新緑さいはれた頃の、まだ餘りに新らしく、なにごなくわく／＼でもしてゐるやうな興奮の色もしづまり、そわ／＼ごはしやいでもゐるやうな眩しげな光澤もおさまり、自ら此の庭のものになりきり、此の庭を我がものご安んじきつてゐるやうな落ちつきが感じられる。

それご丁度同じやうな落ちつきの見え出したのが、六月の園児達の顔色だ。新入園児の顔色には、まだごうも、よそ／＼しげなごころがあり、幼稚園に安んじきつてゐないごころがあり、そのいぢらしさが、われらの心をも安んじさせないごころがあつた。

それが此頃、園児達の顔色が何んご大丈夫な落ちつきを見せて呉れて來たごころか。庭のみぎりご同じく、新鮮潑刺たるまゝでの落ちつきを。
(倉橋惣三)